

クリーンドライ (TYC100NW/NS/AW/AS) (TYC101N) 取付説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では、商品を安全に正しくお取付けいただくために、必ずお守りいただくことを  警告、  注意の表示によってお知らせしています。



警告

この表示の欄の内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



警告

- (1)電源工事は必ず電気工事業者に依頼してください。
感電のおそれがあります。



警告

- (2)壁埋込型の場合は必ず第三種接地工事を行ってください。
感電のおそれがあります。

- (3)必ず漏電ブレーカーを設置してください。
感電のおそれがあります。

- (4)壁埋込型の場合、必ずアース線を電源端子台に接続してください。
感電のおそれがあります。



注意

- (1)必ず電源スイッチを「切」にして、ケースカバーを取外してください。
ファンの回転で傷害のおそれがあります。

はじめに

このたびは、TOTOクリーンドライをお求めいただき、まことにありがとうございました。

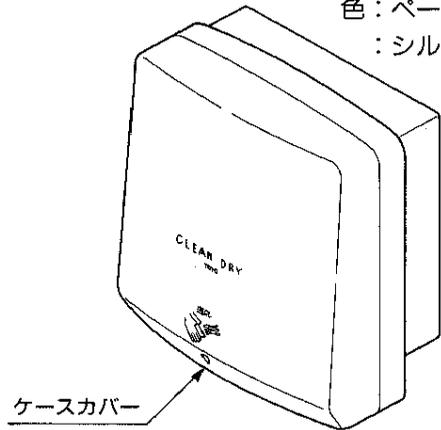
取付けの際は、この取付説明書を十分お読みいただいた上で、取付工事を行ってください。

- 商品にはお客様用として、保証書・ご愛用のしおり・使用方法ラベルが同梱されています。工事完了後は必ずお客様へお渡しください。
- 保証書には、店名及びお取付日を必ず記入してください。

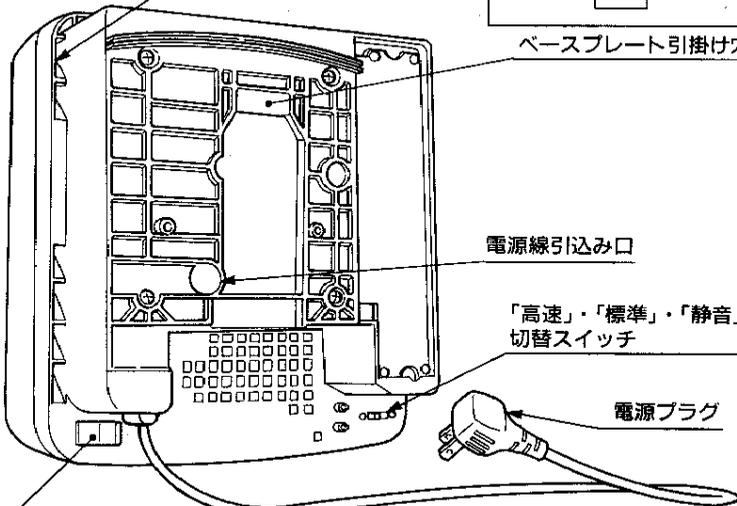
部品の確認及び各部のなまえ(露出型)

①クリーンドライ本体

色：パールホワイト
：シルバーメタリック

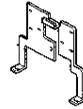


吸気口



(TYC100AW/ASのみ)

②ベースプレート



③取付固定用ねじ類



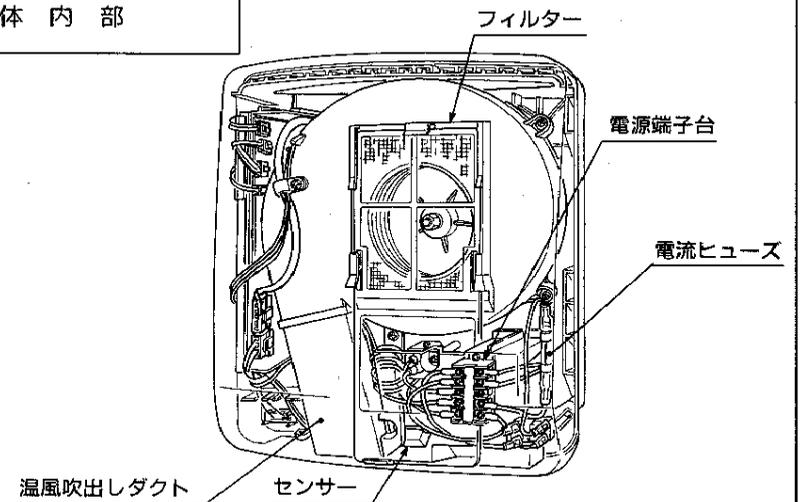
- ・取付木ねじ(4本)
- ・固定用小ねじ(2本)

④保証書

使用方法ラベル
ご愛用のしおり



本体内部



仕様(露出型)

項目	内容	
品番	TYC100NW/NS	TYC100AW/AS
電源	AC100V	
定格消費電力	最大1075W	
1日あたりの標準消費電力量	450Wh ※1日100回、(15秒/回)使用の場合	
ヒーター	ニクロムヒーター(900W)	
モーター	DCブラシレスモーター(175W)	
ファン	ラジアルファン	
電源コード長さ	電源コードなし	有効長さ1m
安全装置	温度ヒューズ、自動復帰型バイメタル、過電流ヒューズ	
周囲使用温度範囲	0~40°C	
製品質量	5kg	

部品の確認及び各部のなまえ (壁埋込型)

①クリーンドライ本体

②固定板

上用
下用

③取付固定用ねじ類

・取付木ねじ(6本)
・固定用小ねじ(2本)

④グロメット

⑤保証書
使用方法ラベル
ご愛用のしおり

配線孔
ノックアウト式

TYC101N

本体内部

「高速」・「標準」・「静音」
切替スイッチ

温風吹出しダクト

センサー

電源スイッチ

仕様 (壁埋込型)

項目	内容
品番	TYC101N
電源	AC100V
定格消費電力	最大1075W
1日あたりの標準消費電力量	450Wh ※1日100回、(15秒/回)使用の場合
ヒーター	ニクロムヒーター(900W)
モーター	DCブラシレスモーター(175W)
ファン	ラジアルファン
安全装置	温度ヒューズ、自動復帰型バイメタル、過電流ヒューズ
周囲使用温度範囲	0~40°C
製品質量	11kg

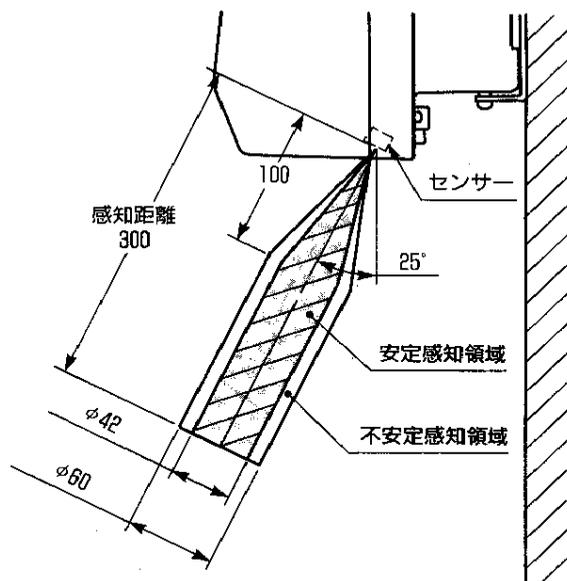
施工前の注意

1. 電気製品ですので、水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所での使用は避けてください。

2.  **警告** 壁埋込型の場合は、必ず第三種接地工事を行ってください。感電のおそれがあります。

使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル
(現場手配) (φ1.6の単線、もしくは2.0mmのより線)

3. センサーの照射角度及び感知距離は次図のとおりです。センサーの感知領域内(安定感知領域内及び不安定感知領域内)に障害物が入る箇所への設置は避けてください。特に光沢のあるステンレスやマーブライト等のカウンターの上では誤動作を生じますので、設置しないでください。



露出及び壁埋込型は共通です。

施工方法

電気工事及び、器具の取付方法については裏面をご覧ください。



(裏面へ)

試運転

取付が完了しましたら次の方法で試運転を行ってください。

1. 動作の確認

①電源スイッチの確認

電源スイッチを入れてください。

②動作の確認

温風吹出し口に手を差出して、温風が吹き出すことを確認してください。

③「高速」・「標準」・「静音」切替えの確認

「高速」・「標準」・「静音」切替えスイッチを操作して温風の切替えができることを確認してください。

※切替え操作は、いったん運転を停止させてから行ってください。

④「90秒タイマー」の確認

吹出し口に手を差出し、温風を出したままで90秒間タイマーが作動し自動的に運転が停止することを確認してください。

2. 試運転の後は

工事店様へ

取付後は、同梱の「ご愛用のしおり」・「保証書」・「使用方法ラベル」をお客様に渡し、器具の使い方について、説明してください。

露出型(電源直結式)

露出型(電源プラグ式)の施工方法

1. 施工前の注意

■電源は交流100V、最高消費電力は1075Wです。必ず専用回線の配線工事を行ってください。

警告 必ず漏電ブレーカーを設置してください。
感電のおそれがあります。

■この取付説明書は電源直結式を主体に作成しております。

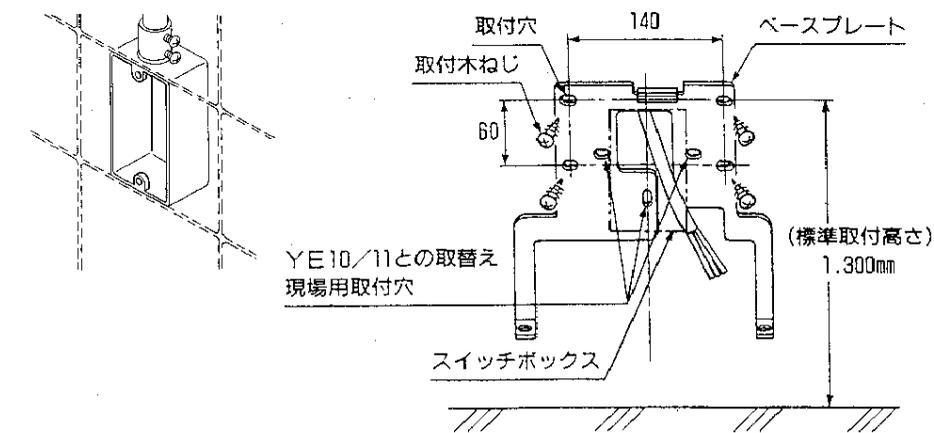
2. 器具の取付け及び電源工事

1 ベースプレートの取付け

電源直結式の場合はベースプレートをスイッチボックスの上に また、電源プラグ式の場合は、コード有効長さの範囲内に取付木ねじ(4本)で確実に壁面に固定してください。

タイルやコンクリートの壁面に取付ける場合は、市販のカールプラグなどを使用して取付けてください。

この際、電源線(600Vビニール絶縁電線、またはケーブルφ1.6の単線、もしくは2.0mmのより線)を壁面から300mm程度引き出しておいてください。



※ベースプレートの取付穴(上側)位置は、床面から1,300mmの位置を目安にしてください。

※YE10/11の旧型品から取替えられる場合は、ベースプレート中央の3つの取付穴を利用することで、従来使用していた壁側の取付穴をそのまま使用することができます。

また、TCE15、20、15K、20Kの旧型品との取替えの際は、その穴を利用し取付けができます。

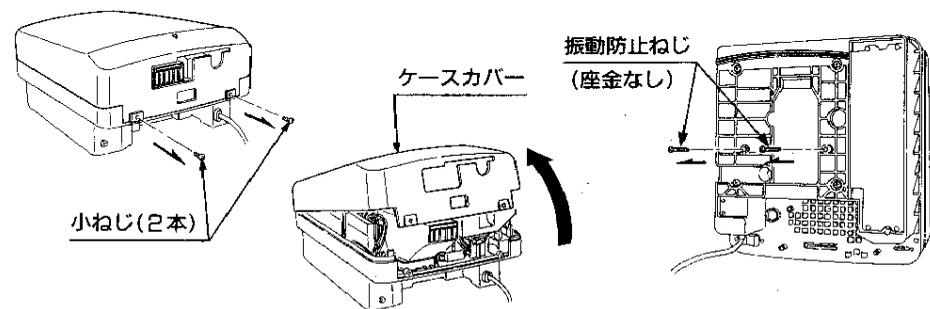
2 ケースカバー及び振動防止ねじの取外し

注意 必ず電源スイッチを「切」にして、ケースカバーを取外してください。ファンの回転で傷害のおそれがあります。

電源直結式の場合は器具本体下側の小ねじ(2本)を外し、ケースカバーを取外してください。

ケースカバーは、吹出し口のところを手前に引き上げるようにして、取外してください。ケースカバーを取外す際は、表面にキズなどつけないように、注意しながら作業を行ってください。

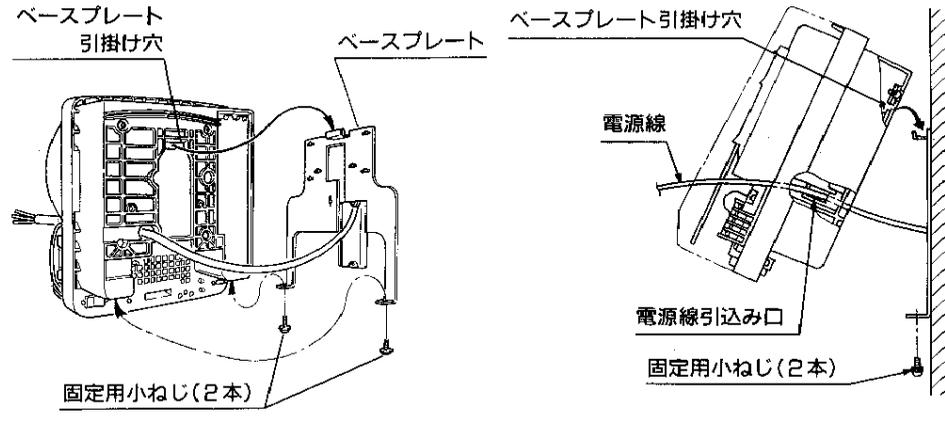
次に、電源直結式及び電源プラグ式共通送用の振動防止ねじを外します。下図の位置のねじ2本を外してください。このねじを外さないとベースプレートには正確に取付きません。



※誤ってモーター固定用ねじ(座金つき)を外さないでください。正しく作動しなくなります。

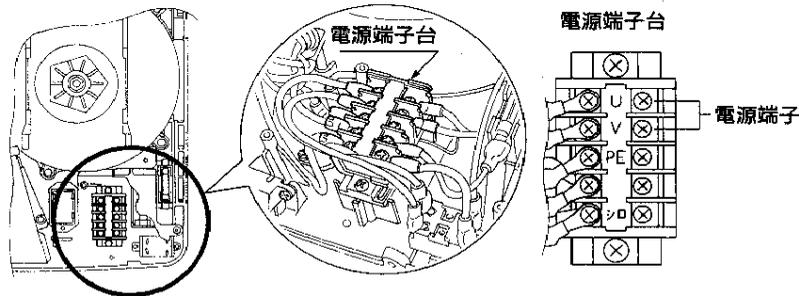
3 本体の取付け

本体裏側の電源線引込み口より、電源線を引込みながら、本体をベースプレートに引掛け、下側から固定用小ねじ(2本)で固定してください。電源プラグ式の場合は、表カバー付のままベースプレートに固定してください。



4 電源線の接続について(電源直結式)

本体内に引込んだ、電源線に圧着端子(丸型 2mm~M3.5 現場手配)を圧着接続し、クリーンドライ内部の電源端子台(U、V)に配線します。配線後、フィルターガイドは必ず取付けてください。



※電源線の接続は必ず電気工事業者に依頼してください。

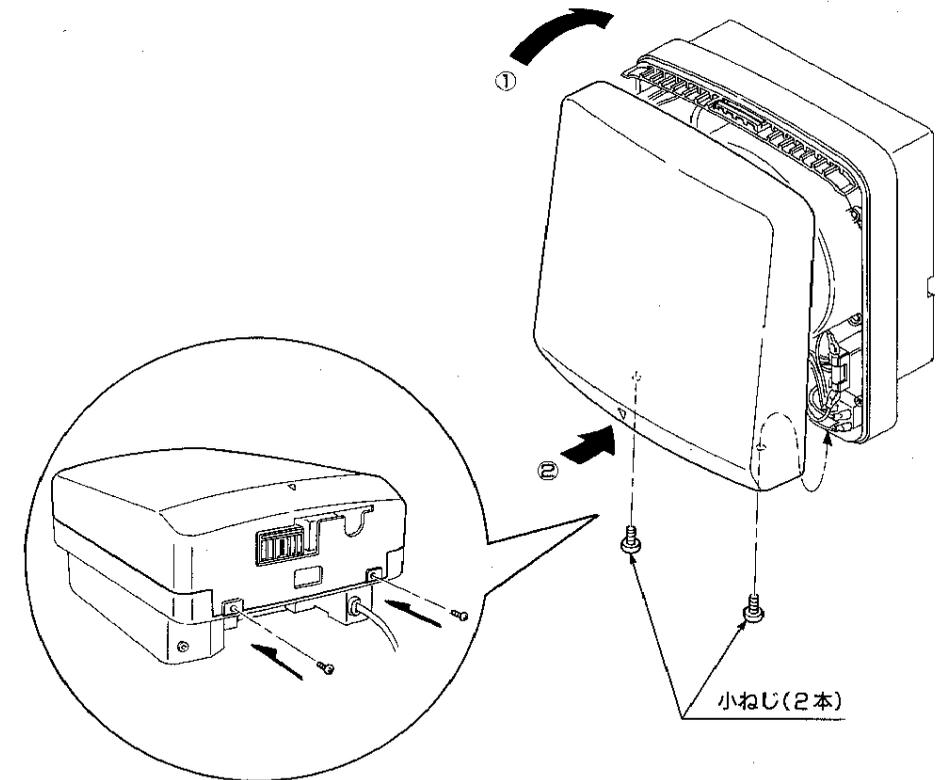
5 ケースカバーの取付け

電源線の接続が終わったら、ケースカバーを取付け、小ねじ(2本)で固定してください。

ケースカバーの取付けは、①本体上部のフックに引掛け、②かぶせるようにして取付けてください。

電源プラグ式の場合は最後に電源プラグをAC100Vのコンセントの根元まで確実に差込んでください。

また、既存のコンセントが2口以上であってもクリーンドライ専用とし、他の電気機器との併用はおやめください。



※ケースカバーを取付ける際は、電源線やリード線等をかみ込まないように注意しながら、作業を行ってください。

埋込型の施工方法

1. 施工前の注意

- この施工方法はあくまで新設の場合を基準に作成しております。
- 電源は交流100V、最高消費電力は1075Wです。必ず専用回線の配線工事を行ってください。



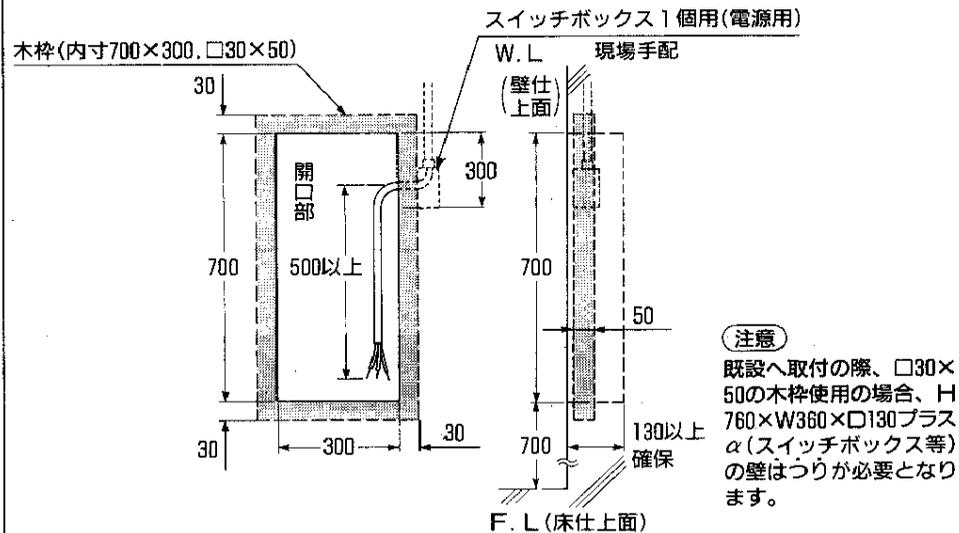
警告

必ず漏電ブレーカーを設置してください。
感電のおそれがあります。

2. 器具の取付け及び電源工事

1 固定枠の位置決め

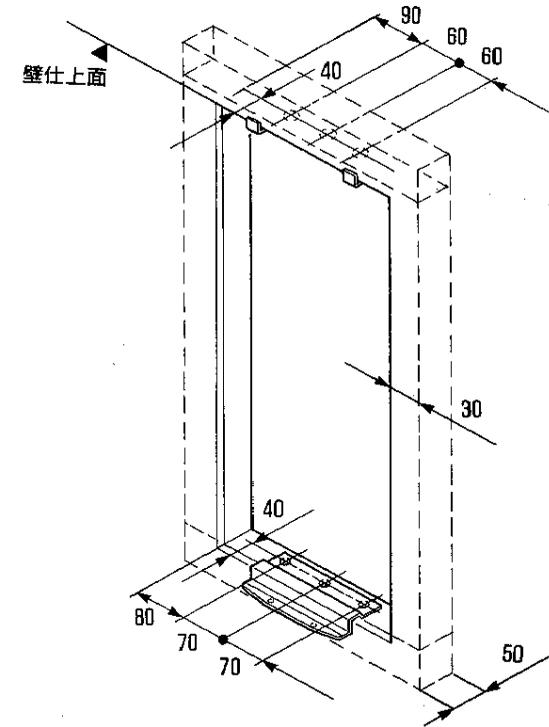
木枠TYC501(別売品、内寸700×300、□30×50以上)を壁の下図の位置に固定し電源引込用スイッチボックス及び電源線、アース線(いずれも600Vビニール絶縁電線、またはケーブルφ1.6の単線、もしくは2.0mmのより線)を付設します。また、電線のリード長さは500mm以上とっておいてください。



※奥行方向へは埋込代を130以上確保ください。

2 固定板の取付け

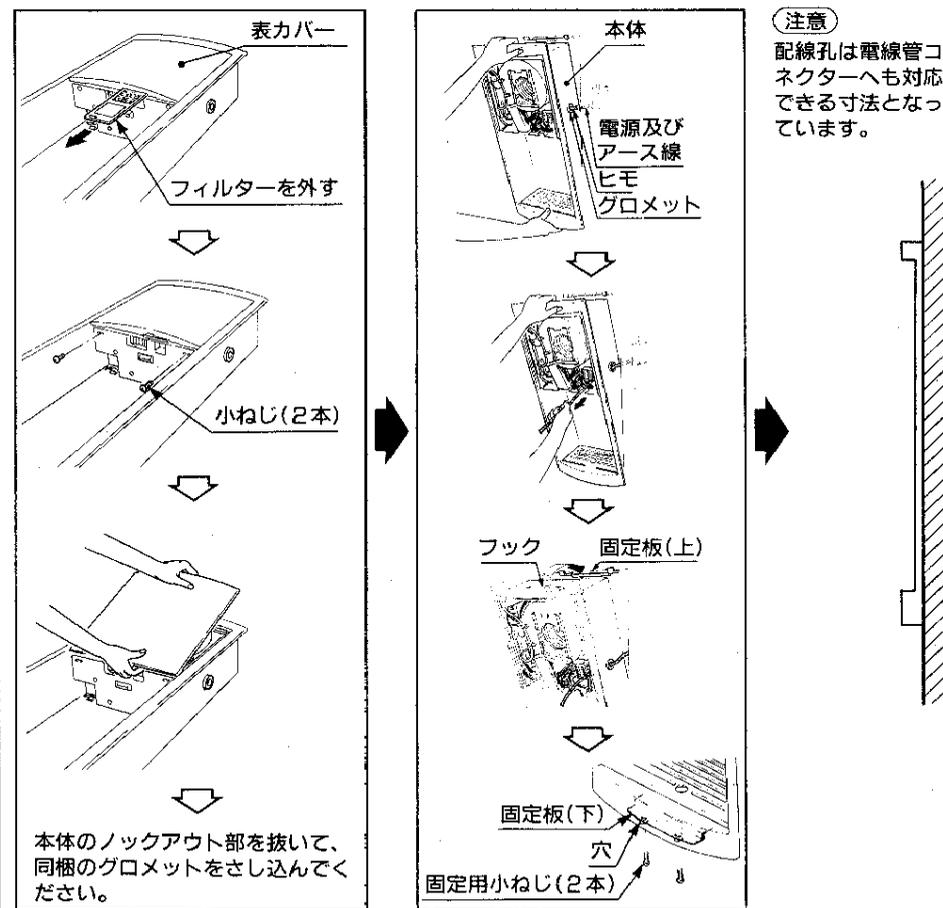
木枠の上辺及び下辺の右図の位置をけがき、固定板用の下穴(φ3.5、深さ25以上)を開け、同梱の固定板(上及び下用)を木ねじで止めます。



3 電線の引込み

⚠ 注意 必ず電源スイッチを「切」にして、ケースカバーを取外してください。ファンの回転で傷害のおそれがあります。

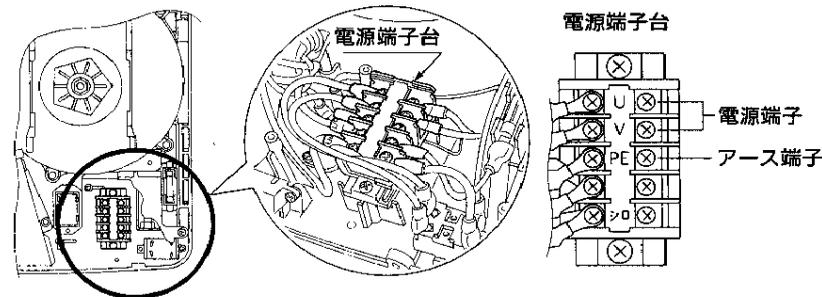
クリーンドライの表カバーを外しロックアウト部にグロメットを差込んだ本体を、開口の下辺部に仮置きし、本体右側面にある配線孔に電源及びアース線の先端に結んだ細いヒモを通したまま、本体を持ち上げながら、本体の額縁裏にあるフックを固定板(上)に乗せ仮固定します。本体底部の穴(貫通)2カ所に同梱のねじ(M4)を通し、固定板(下)と本体を固定します。



4 電源線の接続について(電源直結式)

⚠ 警告 必ずアース線を電源端子台に接続してください。感電のおそれがあります。

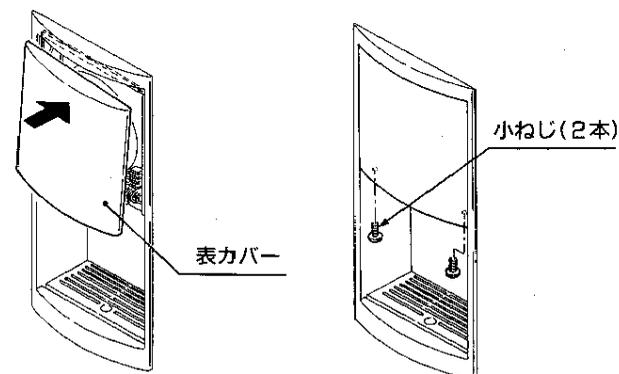
本体内に引込んだ、電源線とアース線に圧着端子(丸型2mm~M3.5 現場手配)を圧着接続し、クリーンドライ内部の電源端子台(U、V、PE)に配線します。



※電源線の接続は必ず電気工事業者に依頼してください。

5 表カバーの取付け

最後に表カバーを本体上の曲げ部(水切部)に乗せて、下の2カ所をねじ止めします。



注意
表カバー取付け後は必ずフィルターを取付けてください。

